

令和2年9月24日 166号 農林水産省経営局就農・女性課

《今号のメニュー》

1. コロナ禍で影響を受けている品目の販売促進の支援策のご紹介
2. 「シニア世代の新規就農に向けた農業研修支援事業」第4回目の募集を開始しました
3. 有機 JAS 認証の取得に向けた講習会の受講等への補助を受付中！
4. 肥料や農薬の販売価格を調査しました！

---

1. コロナ禍で影響を受けている品目の販売促進の支援策のご紹介

---

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、インバウンドの減少や外出自粛等により、在庫の滞留、価格の低下、売上げの減少等が顕著な牛肉、花き、果物等（※）の販売促進の支援（国産農林水産物等販売促進緊急対策「#元気いただきますプロジェクト」）について、ぜひ、ご活用いただきたくご紹介します。

① 農林水産物のインターネット販売送料を負担します！

この事業では、生産者や卸売事業者などの方々がインターネット販売サイトで対象品目を販売する際の送料を支援します。本事業を活用することで、全国各地の消費者に送料無料で商品をお届けすることができます。コロナ禍で消費様式が変わりつつある今、インターネット販売により新たな販路を開拓してみませんか？ぜひご出品をご検討ください。出品方法は次の URL をご覧ください。（外部リンク）

<https://www.ec-hanbai-suishin.jp/producer/>

② 飲食店向けの販路開拓を支援します！

この事業は、デリバリーやテイクアウト販売等に取り組む飲食店の対象品目の購入費や包材費を最大半額、支援するものですが、生産者の皆様への支援もあります。生産者の皆様は、この事業の販売サイトを通じて、飲食店と取引していただくと、①登録料等の負担なく出品・販売でき、②飲食店へ発送する際の送料が無料になります。販売サイトには全国各地の飲食店が参加しておりますので、このサイトに出品して、新たな販路を開拓してみませんか？

出品方法は以下の URL「ぐるなび FOOD MALL」をご覧ください。（外部リンク）

[https://pr.gnavi.co.jp/promo/foodmall-exhibitor/?sc\\_lid=foodmall\\_about\\_exhibitor](https://pr.gnavi.co.jp/promo/foodmall-exhibitor/?sc_lid=foodmall_about_exhibitor)

※対象品目（9月23日時点：品目は追加になる場合があります）

和牛、水産物（マグロ類等）、野菜・果実（メロン、マンゴー、いちご、さくらんぼ）、茶（リーフ茶）、そば、ジビエ（イノシシ肉、シカ肉）、つまもの類（わさび、大葉、たけのこ）

詳しくは、以下の URL をご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/hanbaisokushin/hansoku.html>

「#元気いただきますプロジェクト」では、生産者の方、消費者の方の SNS 上での交流を進める活動にも取り組んでいます。みなさんも、消費者の方に伝えたい情報を SNS に投稿いただく際は、「#元気いただきます」や「#元気いただきますプロジェクト」などの#（ハッシュタグ）を付けて投稿してみてください。

◇お問合せ先

①について

インターネット販売推進事業事務局

<https://www.ec-hanbai-suishin.jp>

TEL:0570-023-064

② について

農林水産物の販路の多角化推進事業事務局

<https://foodmall.gnavi.co.jp/about/>

TEL:0120-905-587

「#元気いただきますプロジェクト」について

<https://www.kokusan-ouen.jp/>

その他

農林水産省大臣官房政策課

TEL:03-6744-2089 担当：笠井、蛭田（ひるた）、井柳、加藤

---

## 2. 「シニア世代の新規就農に向けた農業研修支援事業」第4回目の募集を開始しました

---

農林水産省は、50代の就農希望者に対する営農技術習得のための実践研修等を行う研修機関等を支援する「シニア世代の新規就農に向けた農業研修支援事業」を実施しています。

今回、令和2年9月17日（木）から令和2年10月16日（金）まで、第4回目の募集を行いますのでお知らせします。

第3回の募集と同様、都道府県、市町村、農業協同組合等に加え、農業法人や農業者が研修生を雇用して実施する場合も対象になります。

助成金額は、研修生1人当たり最大120万円（営農技術習得のための実践研修等に掛かる費用を研修機関に助成）となっており、研修指導費、資格取得講習費、外部講師謝金、研修のための旅費等に使用できます。

◇募集要領、申請様式等はこちらを御確認ください。(全国新規就農相談センター HP)

<https://www.be-farmer.jp/farmer/senior/>

◇お問い合わせ先

農林水産省経営局就農・女性課(担当:齊藤、福島(博)、福島(美))

TEL:03-6744-2162(直通)

---

3. 有機 JAS 認証の取得に向けた講習会の受講等への補助を受付中!(※一定の要件あり。)

> 認定新規就農者の方の有機 JAS 講習会受講料 最大 30,000 円まで。

> 有機 JAS ほ場実地検査費用 最大 90,000 円まで

---

新たに有機農業に取り組む認定新規就農者のみなさまへ有機 JAS 認証の取得に向けた講習会の受講等を補助することで、有機 JAS 認証取得に必要な知識や経験を学ぶ機会を提供する「有機農業新規参入者技術習得支援事業」の募集をしています。

◆有機農業新規参入者技術習得支援事業 HP

<https://www.organic-support.jp/>

◆事業説明会に併せて、有機農業知識習得のためのセミナーを開催いたします。

オンラインでのご参加の可能ですので、全国の皆さまがお申し込いただけます。

◇ローカル&オーガニック ~有機をもっと知ろう!千葉に広がる有機農業取組事例~

日程:2020年10月10日(土)15:00~17:00

会場:千葉市中央コミュニティセンター5階多目的室/オンライン会場

料金:無料

定員:オフライン会場20名まで(先着順)/オンライン会場100名まで

詳細:<https://fb.me/e/2VuLLduMU>

◆有機 JAS 認証取得に役立つサポート情報を公開しましたので、ぜひご活用ください。

<https://www.organic-support.jp/support/01/>

◇受付期間

令和2年6月4日(木)~令和2年11月15日(日)

※予算の範囲を超える申請があった場合等、申請受付期間内でも受付を終了します。

◇公募対象者

次の4つの要件に当てはまる農業者

- ・認定新規就農者（青年等就農計画の認定を受けた営農を始めて5年以内の農業者）
- ・過去に有機 JAS ほ場実地検査を受けていないこと
- ・有機 JAS 認証を取得する意向があること
- ・実施年度翌年度以降に行う状況調査（アンケート）に協力すること

◇補助額

次のいずれか、または両方を申請可能

有機 JAS 講習会受講料 最大 30,000 円まで

有機 JAS ほ場実地検査費用 最大 90,000 円まで

◇お問い合わせ先

株式会社マイファーム

有機農業者支援事務局

メール：[organic@myfarm.co.jp](mailto:organic@myfarm.co.jp)

電話番号：03-6435-9675

農林水産省 生産局 農業環境対策課 有機農業推進班

TEL：03-6744-2114

---

#### 4. 肥料や農薬の販売価格を調査しました！

---

資材販売店（430 店）から肥料や農薬などの銘柄ごとの価格情報をいただき平均価格や最低価格などを公表しました。

（調査対象資材：肥料、農薬、被覆資材、段ボール、農業用ハウス、トラクター、コンバイン、配合飼料）

肥料では 11 銘柄、農薬では 21 銘柄の調査を行っていますので、ご自身の購入価格と比較し、今後の購入先や購入方法の検討にお役立てください。

▼調査結果について詳しくはこちら

[https://www.maff.go.jp/j/kanbo/nougyo\\_kyousou\\_ryoku/sienhou/index.html](https://www.maff.go.jp/j/kanbo/nougyo_kyousou_ryoku/sienhou/index.html)

（「2 農業競争力強化支援法に基づく調査結果」が該当箇所となります。）

◇お問い合わせ先

農林水産省 生産局 技術普及課（担当：山崎、栗山、関川）

TEL：03-6744-2182

◆経営局 Facebook「農水省・農業経営者 net」では、農業者の皆様に役立つ情報を発信しています。「いいね！」をし、フォローをお願いいたします。

<https://www.facebook.com/nogyokeiei>

◆農業を始めたい皆さんを応援します！（農林水産省 HP）

[http://www.maff.go.jp/j/new\\_farmer/index.html](http://www.maff.go.jp/j/new_farmer/index.html)

◆「農業競争力強化プログラム」の説明動画を掲載しています

[http://www.maff.go.jp/j/kanbo/nougyo\\_kyousou\\_ryoku/video03.html](http://www.maff.go.jp/j/kanbo/nougyo_kyousou_ryoku/video03.html)

◆メールアドレス等登録情報の変更（農林水産省 HP）

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/chg.html>

◆農林水産省経営局就農・女性課(TEL:03-3502-6469(内線 5195)) が配信しております。

ご意見・ご感想については、以下メールアドレスまで。

【青年新規就農者ネットワークチーム】[syuunou@maff.go.jp](mailto:syuunou@maff.go.jp)